

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○12月30日～

先週はクリスマスの週ということで、相場は比較的静かな動きでした。

流れとしては12月に入ってからずっと円安ドル高が続いている状態です。

日銀が早期の利上げを否定したことで、1月利上げの可能性が低くなっています。

春まで利上げがないとなれば、円安、日本株高が進む可能性があります。

今年も1月初めから4月まで大きく上昇していったので、来年の年初の動きがどうなるのかに注目したいです。

この流れのまま年越しになる可能性が高いですが、急落リスクに備えてポジション管理はしっかりしておきたいです。

日本の株式市場は31日から3日まで休みということで、今週は月曜のみ営業ということになります。海外は元旦が水曜ということで、1日だけがお休みのところも多く、突発的なニュースで乱高下が起こるかもしれません。

2019年には1月3日の年明けにフラッシュクラッシュでドル／円が5円も急落するような動きが実際に起こっており、今年は株式市場が6日に大発会ということで休みが長いので注意がいります。

また、米国は連邦債務上限を巡り共和党と民主党が対立しています。

おそらく何も起こらないと思いますが、財政赤字が巨額になっているため米国債の格下げリスクが浮上しています。

2011年のオバマ政権の時に米国債が格下げされたことで、市場に激震が走ったことがあるため米国債の格付けに関するニュースも気にしておいた方がよさそうです。

最近のドル高の要因の1つに、米国の長期金利が上昇していることもあります。

9月には3.6%程度だった米国債10年の金利は4.6%を超え、今年の春の金利水準まで上がってきています。

今のところ悪い金利上昇とはなっていませんが長期金利の上昇が5%を超える動きになってくると米国株などにも悪影響が出る可能性があります。

そして、トランプ政権になると米国は再びインフレが進むという予想があり、そうなると米国の利下げは遠のき、ドル高円安の流れが来年も続く可能性があります。

ドル高が続いているためドル／円、クロス円、日本株が上昇しているのですがリスクオンの雰囲気ですが米国株は12月初めのピークから下げています。

12月のFOMCの利下げを受けて、米国株も戻っていますが年初から再び下落するシナリオもあるかもしれません。

● テクニカルで見た重要ポイントは？

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

<ドル/円>

先週のドル/円は順調に値を伸ばし、クリスマス前の高値をわずかに超えて、158円にのせました。週末も高値のまま引けて、157円台後半となっています。

日本の利上げが遠のいたことで、ドル/円は再び160円を目指す展開になりそうです。

4月後半につけた160.2円あたりの高値が意識されそうです。

さすがに160円を超えてくると介入警戒感なども出てくるため、一気に162円を目指す動きにはなりにくいと思います。

下値は157円あたりにもサポートがあり、ここを割り込んでも156円維持できれば強い動きが期待できそうです。

156円を割り込むと153円台あたりまで調整が大きくなるリスクもでてきます。

上値は158円を超えると158.8円、160.2円あたりのレジスタンス(抵抗)が意識されそうです。

<気になるクロス円>

クロス円も12月は上昇しているペアが多く、今のところ崩れてくる感じではありません。

9月以降はレンジ相場のようにも見えますが、10月の終わりから11月の初めあたりにつけた高値を超えてくると、昨年7月の高値を目指す動きになってきそうです。

ただし、今の相場は円安というよりもドル高相場なので、ドルに対して各通貨が大きく下げる動きが出れば上昇の勢いは弱まる可能性があります。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称:〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<今週のファンダメンタル？>

日本では重要指標の発表はありません。

米国では12月シカゴ購買部協会景気指数、11月住宅販売保留指数、前週分新規失業保険申請件数、12月製造業PMI(改定値)、12月ISM製造業景況指数などが発表されます。

欧州ではユーロ圏とドイツで12月製造業PMI(改定値)の発表などがあります。

ほかには、中国と英国で製造業PMIの発表などがあります。